

## 実践事例③ 世田谷区立弦巻小学校

### 1 取組・活動名

「みんな友だち」

### 2 取組・活動のねらい

- 障害のある友達とかかわることによって、共生の心を育てる。
- 障害のある人についての知識を獲得し、理解を深める。
- 優しい社会とはどういうものか考え、相手の立場になって行動する態度を養う。

### 3 教育課程上の位置付け

「総合的な学習の時間・10時間」

### 4 実施上の工夫

- ・ 本校の特別支援学級の児童と交流することによって、一人ひとりの違いやよさに気付かせる。
- ・ 交流給食や交流遊びを通して、障害についての理解を深め、相手意識をもったコミュニケーションが図れるようにする。
- ・ 学習を振り返ることによって、児童が今後の学校生活や社会生活に生かせるようにする。

### 5 本取組・活動の内容



- ・ グループごとに交流給食をしている場面。
- ・ 自己紹介したり、好きな勉強や遊びについて話したり、コミュニケーションを図りながら、互いに人間関係を築いていく。
- ・ 会話やかかわり方でうまくいかないことがあることに気づき、障害についての理解や相手意識をもった行動につながる。



- ・ クラスごとに特別支援学級の児童とどんな遊びをしたらよいかを考え、話し合いをし、交流遊びを楽しんでいる場面。
- ・ 自分たちだけでなく、相手も楽しめるよう、ルールについても工夫をしている。



- ・ 雨天時に、室内での交流遊びを計画・準備し、一緒に楽しんでいる場面。
- ・ 計画の際、相手の好きな遊びや音楽など、会話やインタビューをして得た情報を生かしている。

## 6 成果

- ・ 学習前と比べて、特別支援学級の児童と親しくなり、日常から挨拶や言葉をかけ合うような友達になることができた。
- ・ 障害者理解についての認識を深めることができた。
- ・ 相手意識をもった考え方やコミュニケーションの取り方が、以前よりもできるようになった。相手の立場を想像した態度や行動を示すようになった。
- ・ 優しい気持ちをもって、人と接することができるようになった。
- ・ 様々な体験学習を通して、自分の心身への関心及び共生社会に対する意識を高めることができた。